



【未来を描く小さなアーティストたち ～園児造形展～】

今年度も「まつさかのほいくえん・こどもえん園児造形展」を開催します！未来をになう松阪のちっちゃなアーティストたちが心を込めて作り上げた素敵な作品を、ぜひご覧ください。

日時：7月18日（土）～7月26日（日）9:30～17:00

休館日：7月21日（火）

場所：松阪市文化財センター 第1・第2ギャラリー

たくさんの笑顔と感動をお届けするこの機会をお見逃しなく！



【松阪の発掘された遺跡④：環濠をめぐらせた集落～弥生時代から古墳時代へ～】



村竹コノ遺跡でみつけた環濠

村竹コノ遺跡（上川町）

三重県埋蔵文化財センター提供

弥生時代から古墳時代に移りかわる頃、松阪市東南部の金剛川流域では、規模の大きな集落が複数営まれていたことがわかっています。草山遺跡（久保町）、神戸遺跡（下村町）、中世古遺跡（垣鼻・田原町）、村竹コノ遺跡（上川町）などの発掘調査では、集落のまわりに巡らせた濠

（環濠）の一部が確認されています。特に村竹コノ遺跡は、周囲を三重の環濠で囲んだ内側で、たくさんの建物跡などの遺構と土器などの大量の遺物がみつかり、伊勢地域最大級の集落と考えられています。

環濠は、一般的に外部からの攻撃から集落をまもるための施設であるといわれていますが、村竹コノ遺跡の調査では戦いがあったことを示すようなものはみつかりません。環濠内で水が流れていた跡がみつかることから、洪水から集落を護る施設であったのかもしれません。

環濠が使われなくなると、土砂とともにすてられた大量の土器で埋められました。土器のほとんどが地元で作られたものですが、北陸など遠く離れた地方の特徴をもつものや、それを真似て作ったものもみつかります。

発掘調査では、水銀朱が付着した石器や土器がみつかることから、村竹コノ遺跡は当時の貴重品であった水銀朱を生産する集落であったと考える人もいます。環濠から出土した土器は、水銀朱を求めて遠方からはるばる松阪までやって来た人々との交流を示すものかもしれませんね。

文化財センター はにわ館&ギャラリー催し物予定

【はにわ館】 入館料110円 18歳以下無料 開館時間9:00～17:00 入館は16:30まで

第1展示室 常設展 「宝塚古墳の謎」

【夏季企画展 関連行事、夏休みイベント】

第2展示室 夏季企画展 「宝塚1号墳その後 ～古墳時代中後期のまつさか～」

7月25日（土）～ 9月 6日（日）

ミュージアムトーク ※事前申込不要

7月25日（土）

13時半～14時半

はにわ館 第2展示室

ポイントラリー

7月25日（土）・7月26日（日）

9時半～16時

文化財センター内

はにわ館ジュニアガイド ※実施時間帯は入館無料

8月22日（土）、8月23日（日）、8月29日（土）

①10時半～12時

②13時半～15時

はにわ館 第1展示室

夏季ワークショップ 「かんたんなのしい ステンシルトート作り」 ※事前申込必要

8月22日（土）

①10時～12時

②13時半～15時半

第3G

・参加費：500円

・定員：各10人

・募集期間：8月11日（火・祝）9時～8月20日（木）17時

・申込方法：Webまたは電話で文化財センターへ

・その他：募集期間内であっても定員になり次第申込を締切ります。



▲Web申込

【ギャラリー】 入場無料

第1・2G ◆第2回 愛写道写真展

7月 3日（金）～ 7月 5日（日）

9時～17時

※初日は12時から最終日は15時半まで

第1・2G ◆まつさかのほいくえん・こどもえん 園児造形展 ～まつさかのちっちゃなアーティストたち～

7月18日（土）～ 7月26日（日）

9時半～17時

第1G ◆倪 瑞良「切り絵・ミュシャの世界」展

7月30日（木）～ 8月 2日（日）

10時～17時

※初日は13時から最終日は15時まで

< 7月の休館日 6日（月） 13日（月） 21日（火） 27日（月） >

【発行】松阪市文化財センター

【☎】0598-26-7330

文化財センターの情報はこちら →

【FAX】0598-26-7374

【HP】<https://www.city.matsusaka.mie.jp/site/bunkazai-center/>

